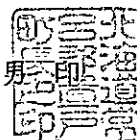


平成20年10月6日

国土交通省道路局長 様

置戸町長 井上 久男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

北海道置戸町

東京湾アクアラインや本四架橋など大型道路建設は、交通需要予測や費用対効果の根拠があいまいだったため、莫大な借金を背負う結果となっています。その借金は道路特定財源と関係地方自治体が負担することとなり、国民の税金でまかなわれることになりました。国の公共事業における道路予算の割合は大きく、その予算も高規格幹線道路などの高速道路建設に主眼が置かれ、田舎の生活関連道路にあまり回っていない状況があるのではないのでしょうか。

地球温暖化、燃料高騰等による経済不況、少子高齢化の進行などは、今までの車中心の社会システムを見直すことを促しているように思えます。都市にあっては、新たな公共交通機関を積極的に生み出し、またその利便性を向上させるなど、車だけに頼らない交通体系を支える道路整備策が必要ではないのでしょうか。

国や地方、道路公団などの財政状況からも、今後の大型道路建設には無理があります。少ない費用と少ない人材で優先順位をつけ、毎年の税収の範囲の中で道路を造り、建設前の合意形成を大切にすることで建設時間を短縮し経費を安くすべきと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②－1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道置戸町

○現状

本町の道路は国道1路線、道道7路線が幹線道路となっています。北見市留辺蘂町・陸別町と接続している国道242号及び十勝、北見、旭川方面への道道の全線が舗装されています。町道は200路線で総延長が250km、うち約50%が舗装されています。

国道や道道の除雪は強化されてきてはいますが、時間や回数など十分とは言えない状況があります。町道についても直営と民間委託による除雪業務を実施しています。

○課題

国道、道道とも道路の拡幅や駐車スペースの拡充、交通安全の視点から一部線形の改良や路肩拡幅などによる歩行者空間の確保が必要になっています。

町道についても、町民の生活に密接に関係することから、利用者の多少に係わらず公共性や緊急性を踏まえて舗装化などの整備が必要です。

冬期間の除雪は、高齢化の進行とともにライフラインの確保として絶対に必要な作業です。近年、国・道・町とも財政状況の悪化から除雪に関しての予算が確保しにくい状況が生まれています。

高齢化が進むこれからの社会は、公共輸送機関の存続と安定した経営を可能にするような総合交通体系が求められています。地方においては特に重要であり、十勝圏と北見圏を結んできた鉄道が廃止された本町にあっては、地域住民のライフライン確保からもモータリゼーションを保障する道路の整備は必要不可欠なものです。

また、道路は建設後時間の経過とともに傷みます。修繕という概念ではなく、営繕という概念により常に保守点検に努めることで経費の節減や安全対策を図れるものと考えます。営繕のための経費を常に予算化する必要があります。